## 神と民との仲介者、 モーセの祈りを考 察、教皇一般謁見

教皇フランシスコは、6月17日、水曜日の一般謁見を通見を通りビデオを通りといるといる。これがいいるがは、たいでは、ないでは、ないで、でいるのが、でいる。とれた。

2020/06/24

教皇のカテケーシス、バチカン・ ニュースの訳(リンク)

親愛なる兄弟姉妹の皆さん

わたしたちの祈りをめぐる一連の考察の中で、神は「安易に祈る者」と 絆をもつことを、決して愛されな かったと気づきます。あのモーセで さえ、召し出しの最初の日から「頼 りない」仲介者でした。

神がモーセを召し出された時、彼は 人間的には「落伍者」でした。「出 エジプト記しは、彼をミディアンの 地における逃亡者として描いていま す。モーセは若い時、同胞のヘブラ イ人に憐みを抱き、虐げられた人々 を守る側にもつきました。しかし、 たとえ良かれと思いしたことでも、 彼の手から正義はあふれず、むしろ 暴力を生み出したことに気づきま す。こうして、彼の栄光の夢ははか なく壊れました。モーセはもう将来 を約束された官吏ではなく、チャン

スを逃した者であり、今は自分の所有でもない羊の群れを飼ってアントのまさにこのミディアンとがるいまなにで、神は燃えいられ野の沈黙の中で、神は燃からモーセに声をかけらいよいのでは、アブラハムの神、イーである。『オーセングの神、ヤコブの神である。』を見ることを恐れて顔を覆った」(出エジプト3,6)。

神はモーセに話しかけ、再びイスラ エルの民の世話をするようにと招き ます。モーセは神に対し、恐れと反 対を示します。自分はこの使命に向 いていない、神の名を知らない、イ スラエルの人々は信じないだろう、 自分は雄弁ではない等々、多くの理 由を挙げ、異議を唱えました。モー セの口にしばしば上ってくる言葉 は、神に向けるあらゆる祈りにある ように、それは「なぜ?」という問 いでした。なぜ、わたしを遣わされ るのか?なぜあなたはこの民を解放 しようとするのか?「モーセ五書」には、神がモーセの信頼の欠如を面と向かって非難され、それゆえに彼を約束の地に導き入れることを拒む、劇的なくだりがあります(参照:民数記20.12)。

この恐れの気持ち、しばしば揺れる 心を持ったモーセは、どのように祈 ることができたでしょうか。モーセ はわたしたちと同じ人間のように見 えます。同様のことがわたしたちに も起きます。わたしたちに疑念があ る時、どうやって祈ることができる でしょうか。そして、彼の強さより も、この弱さのために、わたしたち は胸を打たれるのです。神の掟を神 の民に伝える任務を負った者、神の 祭礼の基礎を築いた者、崇高な神秘 の仲介者、モーセは、特に民が誘惑 と罪にさらされている時も、彼らと の連帯の固い絆を保ち続けました。 モーセは常に民に愛着を持ち、自分 の民の記憶を忘れることはありませ

モーセは神を拒絶することも、民を 拒絶することもしません。彼は神の民に忠実であると同時に、神のにも言動一致の態度を示しまを にもずれにせよ、モーセは権威りませる。 がざす独裁的な指導者ではあります。 がでした。「この地上の誰にも記した。 では、の地上の誰にも記しています。自分の恵まれたそ の立場にも関わらず、モーセは、神 への信頼を旅路の糧として生きる 「心の貧しい人々」の群れに、自ら 属すことを望み続けました。彼は民 の人でした。

このように、モーセの特徴的な祈り の形は、「執り成し」であると言う ことができるでしょう(カトリック 教会のカテキズム、2574)。モーセ の神への信仰は、彼が民に対して育 む父性と切り離すことのできないも のです。聖書は、モーセを両手を高 く、すなわち神に向かって挙げた姿 で描き出します。それは、まるで モーセ自身が天と地の架け橋となる かのようです。最も厳しい試練の 時、民が神と指導者モーセを否認 し、金の仔牛を造らせた日にも、 モーセは民を突き放すことを望みま せんでした。彼は神も民も拒絶する ことはありませんでした。モーセは 神に言います。「この民は大きな罪 を犯し、金の神を造りました。今、

もしもあなたが彼らの罪をお赦しくださるのであれば…。もし、それがかなわなければ、どうかこのわたしをあなたが書き記された書の中から消し去ってください」(出エジプト32,31-32)。

モーセは民を見捨てることはありま せんでした。彼は神と民の架け橋、 仲介者でした。彼は自分の立身出世 のために民を差し出すことなく、自 分の血肉、自分の歴史である民のた め、そして自分を召し出された神の ための仲介者、架け橋となりまし た。皆の架け橋となるべきすべての 司牧者にとって、なんと素晴らしい 模範でしょうか。それゆえ司牧者を pontifex(橋を築く者)と言うので す。司牧者は、自分が属する民と、 自らの召命を通して結びつく神との 架け橋です。モーセもそうでした。 「主よ、彼らの罪をお赦しくださ い。お赦しくださらないならば、わ

たしをあなたが書き記された書の中

から消し去ってください。わたしの 民を踏み台に、出世したくないので す | 。

これは、神を真に信じる者たちが自 身の霊的生活の中に育む祈りです。 たとえ人々の欠点や、神から遠いそ の生活を知っていても、これらの祈 る者たちは、人々を裁くことも、拒 むこともしません。執り成しの態度 は、まさにイエスに倣う聖人たちの 態度、神と民との架け橋です。モー セは、この意味で、わたしたちの弁 護者であり仲介者であるイエスの最 も偉大な預言者でした(参照:カト リック教会のカテキズム、2577)。 今日もイエスは橋を築く方、わたし たちと御父との架け橋です。イエス は、わたしたちの救いのために払わ れた犠牲の傷跡を御父に見せなが ら、わたしたちのために執り成され ます。モーセは、今日もわたしたち のために祈り執り成しされるイエス の予型なのです。

モーセは、イエスと同じ情熱をもっ て祈り、世のために執り成しを願 い、自分のすべての弱さにも関わら ず常に神に属していることを思い出 すように、わたしたちを励ましま す。すべての人が神に属していま す。最もひどい罪びと、最も悪辣な 人々、最も腐敗した指導者たちも神 の子であり、イエスは皆のために執 り成しをされます。そして、世は、 義人の祝福、聖人、義人、司祭、司 教、教皇、信徒、あらゆる信者が、 人々のためにいつの時代にも上げ続 ける憐みの祈りのおかげで、生き、 繁栄するのです。モーセの執り成し を思いましょう。わたしたちが誰か を裁こうとする時、そして、わたし たちが腹を立てている時、-腹を立 てるのはよくても、人を裁くのはよ くありません - その人のために執り 成しを願いましょう。これはわたし たちを大いに助けるでしょう。

Libreria	Editrice	Vaticana	/ Rome
Reports			

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/papa-francisco-moises/(2025/12/12)